

令和4年3月1日

各講座・学科目、各センター及び
病院各部・センター（室）等の長 殿

教育研究推進センター長 松本成史

教育研究推進センター実験実習機器技術支援部門の
設備の使用申請について（照会）

標記のことについて、令和4年度において当該設備を利用する場合、設備の使用申請が必要となります。

つきましては、下記により、別記様式第1「設備の使用又は委託申請書」を作成のうえ、期限までにご提出ください。

なお、本申請は単年度毎のため、申請区分は「新規」を選択していただきますようお願いいたします。

記

1. 提出期限 令和4年3月25日（金）
2. 提出方法 両面印刷した紙に押印のうえ、以下のいずれかへご提出ください。
(i) 共用研究棟1階奥 教育研究推進センター管理室
(ii) 本部管理棟1階 実験実習機器技術支援部門メールボックス
3. 申請書 URL <http://cent-scorpio.asahikawa-med.ac.jp/central/within/applications/>
教育研究推進センター実験実習機器技術支援部門
≫ 各種申請書（学内限定）≫ 使用規程に関わる書類

以上

【お問い合わせ先】

教育研究推進センター
実験実習機器技術支援部門
担当：千葉（内線 2623）
笹島・宮園（内線 2633）

実験実習機器技術支援部門の設備の使用・委託申請の方法

1. 別記様式第1「設備の使用又は委託申請書」の記入要領

1. 新年度の申請の場合、申請区分は「新規」を選択してください。
2. 実験実習機器センターの機器・設備（裏面に記載のものに限らず、全てが対象）を使用又は委託する場合、提出してください。機器・設備に関しては、実験実習機器技術支援部門 HP をご覧ください。
3. 裏面の「2. 期間利用料金の流用依頼」のリストにある機器・設備を使用する場合、該当する設備にチェックしてください。使用期間は、通期又は半期（前期：4～9月、後期：10～3月）を選択できます。
なお、フリーザー室・培養室・P2 実験室・BSL 実験室については、初めて使用する場合、事前にお問い合わせください。
4. 年度途中で申請内容を変更する場合、既に承認を受けた申請書（写しを返却します）を参考のうえ、変更箇所のみ記載（追加：黒字、削除：赤字）して、提出してください。

2. P2 実験室又は BSL 実験室を使用する場合、以下の申請書も提出してください。

P2 実験室 ➡ 別記様式第 4-1 「P2 実験室の使用申請書」

BSL 実験室 ➡ 別記様式第 4-2 「BSL 実験室の使用申請書」

3. 全ての申請書は以下の URL よりダウンロードできます。

<http://cent-scorpio.asahikawa-med.ac.jp/central/within/applications/>
教育研究推進センター実験実習機器技術支援部門 ≫ 各種申請書（学内限定）
≫ 使用規程に関わる書類

記入例 別記様式第1「設備の使用又は委託申請書」

新規申請 (表面)

申請者は、料金の支払い責任、使用責任者及び使用者の監督責任を負うことをご確認ください(規程参照)。

設備の使用又は委託申請書

教育研究推進センター長 殿

申請日 2021年 3月 3日
申請者 講座等名 ○○講座○○分野○○部門
氏名 機器 太郎 (印)
内線 ○○○○

申請年度	2021年度		
申請区分 (該当に☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 変更(追加) (承認番号 _____)	<input type="checkbox"/> 変更(削除) (承認番号 _____)

(注意事項)

- 変更申請の場合は、下記項目1及び2の変更箇所のみ記載して下さい。
(追加は黒字、削除は赤字で記載して下さい。)
- 本申請書は、講座等の単位で作成して下さい。
- 両面印刷したものに押印の上、提出して下さい。

1. 使用又は委託する者(使用者)の申請

下記のとおり、実験実習機器技術支援部門の機器・設備の使用者を申請します。

使用責任者	純水 装子
使用者	製氷 機太 電子 顕子 培養 室太 質量 分子(大学院3年) 蛍光 顕太(医学科4年)
(備考)	

使用責任者は申請者を兼ねても構いません。

実験実習機器センターの設備を使用する全員を記入してください。
(大判プリンター、顕微鏡等の全ての設備が対象です。)

(注意事項)

- 使用又は委託に当たっては、「旭川医科大学教育研究推進センター実験実習機器技術支援部門が管理運用する共同利用設備の使用に関する規程(当センター実験実習機器技術支援部門のホームページに掲載)」を遵守して下さい。
- 申請年度の機器・設備の使用者を**全員記入**して下さい。
- 学生の場合は、学年を氏名の後に明記して下さい。

記入例 別記様式第1「設備の使用又は委託申請書」

新規申請 (裏面)

- 使用を希望する機器・設備にチェックを入れてください。
(このチェックに基づいて、利用料金を流用します。)
- 使用希望の期間は、通期又は半期(ごと)のいずれかを選択できます。

2. 期間利用料金の流用依頼

下記のとおり、期間料金がかかる機器・設備の利用及び料金の流用を申請します。

機器・設備	(半期利用料)	(該当するものに☑)		
		通期 (1年間)	前期 (4~9月)	後期 (10~3月)
電子顕微鏡	(25,000円)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
超純水装置	(7,500円)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
製氷機	(2,500円)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フリーザー室	(12,000円 × 1台)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オートクレーブ	(5,000円)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
乾熱滅菌器	(5,000円)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
培養室	(15,000円)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
培養室・持込機材有	(45,000円)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P2 実験室	(72,000円)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P2 実験室・持込機材有	(102,000円)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
BSL 実験室	(72,000円)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
BSL 実験室・持込機材有	(102,000円)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

新規にこれらを使用する場合は、事前にお問い合わせください。

1年間の料金を一括流用

半期ごとに料金を流用

フリーザー室	ディープフリーザー (電源 100V 単相、15A)
培養室	クリーンベンチ、インキュベーター、冷蔵庫
P2 実験室	インキュベーター
BSL 実験室	

(注意事項)

1. 本流用依頼の申請に基づき、期首に利用料を申請講座等の経費から流用します。
2. 競争的資金等での流用希望の場合は、「教育研究推進センターの競争的資金による利用申請」も併せて行って下さい。
3. 機材持込に関しては、設置場所・電源容量等に限りがあるため事前にお問い合わせ下さい。

「P2実験室」又は「BSL実験室」を使用する場合は、本申請書の他に、「P2実験室の使用申請書」又は「BSL実験室の使用申請書」も提出してください。

教育研究推進センター長

(備考)